

Case : 315

座面高さ調整時に、フレームの隙間に指を挟みそうになる

### 場面の説明

歩行器の座面の高さを調整しようとして、指を挟みそうになった



利用シーン	 移動
主な利用場所	 その他
介護保険の種目	 歩行器
分類コード (CCTA95)	120606 (歩行車)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

### 解説

歩行器の座面を調整する際の指の持って行き方が悪く、挟みそうになった事例です。歩行器の構造や機構によるところが多く、説明書通りの調整方法で行えば危険は少なくなります。ただし、実際には説明書を見ずに使われることが少なくなく、メーカーレベルでの工夫も求められます。

### 参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：説明書にある安全な調整方法を知らないで我流でやろうとした  
 モノ：指を挟み込みやすい構造や機構だった  
 環境：十分な明るさがなく、細部が見えにくかった  
 管理：メーカーからの注意喚起が不足していた

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 315

座面高さ調整時に、フレームの隙間に指を挟みそうになる

事例詳細



回答前に見ないこと

### 場面の説明

歩行器の座面の高さを調整しようとして、指を挟みそうになった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ